

## 第32回 評議員会（2014年1月18日開催）報告

於：朝日生命大手町ビル 大手町サンスカイルーム 24階(E室)

### 1：趣旨

日本ユネスコ協会連盟（以下日ユ）の第32回評議員会に関東ブロック選出青年評議員として出席した件について個人の責任の下報告を行う。

内容については当日の資料及び記憶に基づくものであり、数字等の正確性については必ずしも保障するものではないことを明記する。

### 2：今回の主な内容

- ・第31回評議員会議事要録の承認
- ・日ユ協連の事業報告(2013年10月～12月)
- ・各種委員会からの報告
- ・SWOT分析の説明
- ・質疑応答
- ・理事・評議員情報交換会
- ・新年懇親会

### 3：質疑記録（青少年ユネスコ活動に大きく関わる部分のみ記載）

<発言者>玉川大学ユネスコクラブ 小林評議員

青少年ボランティア委員会とユネスコスクール部会に関わっており、大学ユネスコクラブとユ協の青年の連携についての問題提起をしたい。11月30日に「大学ユネスコクラブ全国サミット」が行われ、今後、参加者同士のネットワークを構築していくことを決めた。しかし、“大学ユネスコクラブ”のネットワークと“全国的青年連絡組織”のネットワークの2つが存在することは、組織が複雑になってしまう。現在、大学ユネスコクラブが構成団体会員でない場合が多く、日ユ協連として組織的に大学ユネスコクラブに対して加盟を積極的にアプローチしていく必要があるのではないかと。

<回答者>日ユ協連 松田会長

とても重要な問題提起である。今後の平和活動に、若い人の力がなくして未来はない。私自身、北大でユネスコに出会ったが、大学ユネスコで苦い経験をしたことがある。前向きに協議させてもらいたい。

<発言者>大分県ユネスコ協会連盟 佐藤評議員

12月に、九州青年交流研究会を行い、沖縄、九州を中心に約30名の青年が集まった。高校生も15名の参加があり、山口や愛媛からも参加してくれた。『ユネスコ30の質問』やユネスコ憲章前文などを配ったが、ユネスコを学ぶための手法の充実が問題として挙げられた。

<発言者>岐阜県ユネスコ協会 平井評議員

2014年度の「ユネスコ子どもキャンプ」を岐阜でやりたいと考えており、2013年から準備を進め

ている。理事会で通らなければ、開催は決定できないのか。準備を進めている青年を裏切ることにはならないのか。

<回答者>富山ユネスコ協会 松波理事

予算措置として、3月の理事会が最後のまとめとなる。2014年度はこれまでと同じ支援事業として開催を予定している。

<回答者>日ユ協連 野口理事長

来年度は、岐阜で開催してもらいたいと思っている。

<発言者>個人会員 石田理事

ユネスコスクール部会について、今後ユネスコスクールが核となってくることを考えると、手引きでは弱いと感じる。最大限に働きかけて、積極的なアプローチをしていくべき。

<回答者>米田理事

力強い援護射撃として受け止める。精一杯編集していきたい。

<発言者>名古屋ユネスコ協会 下枝評議員

今後、ESDパスポートを中心に活動していきたいと考えている。進捗状況を教えてもらいたい。

<回答者>事務局組織部 長倉部長

2013年度は、パイロット展開を行った。2014年度については、現在検討を進めている。想定以上の好評で、当初よりも予算が必要となり、調整をしている。

#### 4：個人的に印象に残ったこと、及び感想

- ・青少年ボランティア委員会には、委員として議論に参加させていただいているが、1年間という短い期間で数回かつ各回数時間の議論では、日ユ協連全体が抱えている青少年ユネスコ活動における課題を議論し、解決するための具体的な手段を考えることは非常に難しいと感じている。
- ・ブロック別に行われる理事・評議員情報交換会では、ブロック内でのユネスコ協会や青年ユネスコ活動における課題を協議することができ、非常に有意義であると感じる。しかし、人数が多いためやむを得ないと思うが、関東ブロックはAとBの2つに分けて開催されるので、関東選出の青年評議員として参加している私としては両方の議論に参加することができず、非常に残念である。

以上

文責：柏ユネスコ協会 石川郁香  
(関東ブロック選出青年評議員)